

報 道 各 位

SEA JAPAN 2026 展示会への参加予定について

一般社団法人 日本船用工業会

当会は、4月22日から24日まで東京ビックサイトで開催されるSEA JAPAN 2026 展示会（1994年以來16回目）に、日本の海事クラスターがもつ高度な技術や研究成果等を世界に発信することを目的に、前回に引き続き（公財）日本財団の助成を受け、ジャパンパビリオンを設置し参加する。

本展示会の参加にあたっては、従来と同じく国土交通省海事局、海上保安庁の他、関連団体、関連企業より構成する「SEA JAPAN 2026 企画委員会（座長：国土交通省海事局船舶産業課 中村幹舟艇室長）」を設け、企画・運営を行った。

今回は、「海事イノベーションの最前線へ ～世界の海を日本が変える～」をメインテーマに設定。カーボンニュートラルやDX・自動運航等の海事産業の最新トピックス等の展示に加え、大学・高専・学生団体等の取組紹介に特化した「アカデミア」を新たにテーマとして追加し、11つのカテゴリで区分した「テーマゾーン」による展示を行う。本テーマゾーンに、過去最大の当会会員企業82社によるメンバーズゾーンを含めて、これまでで最大となる規模のジャパンパビリオンを形成する。

SEA JAPAN 2026 企画委員会では、テーマゾーンによる展示だけでなく、各種セミナーやイベントの企画も行っており、今回は「国際海事セミナー」、「船舶海洋技術セミナー」、「学生イベント」のほか、初の試みとして「学生DAY」を実施する。

「国際海事セミナー」は、展示会初日の4月22日に、オープニングセレモニーに続いて開催する。今回は、米国造船振興政策の動向と日本との連携をテーマに、ジョージ・グラス駐日米国大使による基調講演を行った後、米国造船サプライヤー協会（American Shipbuilding Suppliers Association）による講演を行う。

「学生イベント」は、日本造船工業会主催の「造船業界学生イベント」と当会主催の「船用業界学生イベント」の2つを並行して実施。当会主催の「船用業界学生イベント」は、4月23日から24日に亘り、学生に海事業界及び船用工業について学んでもらうことを目的に、全国10校以上の大学・高専より学生・教員を招き、業界の概要説明、展示会場各ブースの見学、企業に在籍するOB・OG等との交流会等を行う。

展示会最終日となる4月24日は、「船舶海洋技術セミナー」と「学生DAY」を実施。「船舶海洋技術セミナー」は、従来同様の講演に加え、初の試みとして、学生・社会人を参加対象に、海事業業を舞台とした情報セキュリティスキルを競う「JSMEA サイバーコンテスト」も併催する。また、初の試みとなる「学生DAY」は、SEA JAPANを活用して学生に海事業業について学んでもらうための体験イベント、セミナー、展示、ノベルティの配布等を行う。

<展示会の概要>

会 期：令和8年4月22日(水)～24日(金) 10:00～17:00

会 場：東京ビッグサイト 西1～4ホール

来場者数：30,000名 ※主催者発表の見込み数 (前回29,983名)

<テーマゾーンの概要> (日本財団助成事業)

内 容：我が国海事クラスターの有する技術力を内外に発信するため、国交省、関連団体、大学、海運会社等で構成する「SEA JAPAN 2026 企画委員会」にて検討の上、我が国で研究・開発した製品・技術等について、下記のテーマにカテゴリズして展示を実施

カテゴリ：①総合展示、②官公庁船、③海運、④造船・エンジニアリング、⑤内航・フェリー、⑥船級、⑦カーボンニュートラル、⑧海洋開発・洋上風力利用、⑨DX・自動運航、⑩研究開発、⑪アカデミア

メインテーマ：海事イノベーションの最前線へ ～世界の海を日本が変える～

展示面積：886.0 m²

出展社数：56 ブース／58 社・機関

1. 総合展示

国土交通省、(一社)日本船用工業会、(株)海事プレス社

2. 官公庁船

海上保安庁、防衛省 海上幕僚監部、防衛装備庁

3. 海運

日本郵船(株)、(株)商船三井、川崎汽船(株)

4. 造船・エンジニアリング

今治造船(株)、川崎重工業(株)、ジャパン マリンユナイテッド(株)、(株)新来島サノヤス造船、常石ソリューションズ東京ベイ(株)、(株)名村造船所、日本シップヤード(株)、三菱造船(株)、(一社)日本造船工業会、(一社)日本中小型造船工業会、日本船舶輸出組合

5. 内航・フェリー

(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構、(株)SIM-SHIP

6. 船級

(一財)日本海事協会

7. カーボンニュートラル

(一財)次世代環境船舶開発センター、(株)IHI 原動機、(株)赤阪鐵工所、カナデビア(株)、商船三井(株)、ダイハツインフィニアース(株)、大洋電機(株)、中国塗料(株)、ナブテスコ(株)、(一財)日本気象協会、日本船燈(株)、BEMAC(株)、ボルカノ(株)、眞鍋造機(株)、ヤンマーパワーテクノロジー(株)

8. 海洋開発・洋上風力利用

BEMAC(株)

9. DX・自動運航

日本財団、ナブテスコ(株)、BEMAC(株)

10. 研究開発

(国研)海上・港湾・航空技術研究所、(一財)日本船舶技術研究協会、
(一財)日本造船技術センター

11. アカデミア (新規追加)

東京大学、東京海洋大学、横浜国立大学、東海大学、神戸大学、大阪公立大学、
長崎大学、長崎総合科学大学、(独法)国立高等専門学校機構(富山高専・鳥羽商船高専・
弓削商船高専・広島商船高専・大島商船高専・函館高専・秋田高専・八戸高専)、
Innovators of Blue Ocean

<メンバーズゾーンの概要> (自主事業)

展示面積：2,223 m²

出展者数：80 ブース/82 社

出展者：(株)IHI 原動機、(株)相浦機械、伊吹工業(株)、(株)ウエイクフィールド、潮冷熱(株)、
(株)宇津木計器、(株)ウッズ、EIZO(株)、(株)エヌワイ、(株)オーケーエム、ガイスリンガー(株)、
(株)カゴオ、(株)カシワテック、神奈川機器工業(株)、かもめプロペラ(株)、川崎重工業(株)、
極洋電機(株)、(株)ケーイーアイシステム、(株)高工社、(株)神戸機材、(株)小坂研究所、
(株)サクシオン瓦斯機関製作所、(株)ササクラ、(株)サンフレム、JRCS(株)、四国化成工業(株)、
島田燈器工業(株)、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、(株)湘南工作所、(株)シンコー、
(株)関ヶ原製作所、セムコ(株)、ダイキン MR エンジニアリング(株)、大晃機械工業(株)、
ダイハツインフィニアース(株)、大洋電機(株)、(株)鷹取製作所、中国塗料(株)、中日輪船商事(株)、
常石ソリューションズ東京ベイ(株)、(株)帝国機械製作所、DEXIE Japan(株)、寺崎電気産業(株)、
東京計器(株)、東京日進ジャバラ(株)、東部重工業(株)、(株)TOWATECHNO、(株)トリプルクラウンズ、
ナカシマプロペラ(株)、(株)浪速ポンプ製作所、ナブテスコ(株)、西芝電機(株)、ニチモウ(株)、
(一財)日本気象協会、日本船燈(株)、日本船用エレクトロニクス(株)、日本無線(株)、
阪神内燃機工業(株)、BEMAC(株)、ヒエン電工(株)、(株)日阪製作所、(株)日立ニコトランスミッション、
富士電機(株)、富士貿易(株)、兵神機械工業(株)、ボッシュ(株)、ボルカノ(株)、眞鍋造機(株)、
三浦工業(株)、(株)ミズノマリン、(株)三井 E&S、三菱化工機(株)、三菱重工マリンマシナリ(株)、
ムサシノ機器(株)、(株)村山電機製作所、明陽電機(株)、山科精器(株)、(株)ヤマトメタル、
ヤンマーパワーソリューション(株)、郵船商事(株)、横河電機(株)、(株)YDK テクノロジーズ

<関連イベントの概要>

1. 国際海事セミナー

日 時：令和8年4月22日(水) 10:00-11:00
 場 所：会議棟1F(レセプションホールA)
 主 催：SEA JAPAN企画委員会
 講演内容：米国造船振興政策の動向と日本との連携
 プログラム：

9:30～10:00	※オープニングセレモニー
10:00～10:15 (15分)	Keynote Address (基調講演) 駐日米国大使 / ジョージ・グラス 氏
10:15～11:00 (45分)	Trust Grows Through Action: A Disciplined Path to U.S. -Japan Industrial Cooperation Senior Vice President, ELLWOOD Group, Inc. Director, American Shipbuilding Suppliers Association Dana A. Beyeler 氏

2. 船用業界学生イベント

日 時：令和8年4月23日(木)～24日(金)
 場 所：展示会場等各所
 主 催：日本船用工業会

参加予定大学：東京海洋大学、芝浦工業大学、横浜国立大学、東海大学、同志社大学、大阪公立大学、
 神戸大学、鳥取大学、岡山大学、長崎大学、長崎総合科学大学、広島商船高等専門学校、
 弓削商船高等専門学校、大島商船高等専門学校、秋田工業高等専門学校

※参加調整中の大学を含む

プログラム：

【4月23日(木)】

時間	実施概要	場所
13:30-13:50	開会挨拶・オリエンテーション	展示会場4F
13:50-14:10	海事産業・船用工業の概要説明	(セミナールーム4)
14:10-17:00	学生参加型イベント (①展示会シールラリー、②SNS投稿コンテスト) 14:10-14:20 概要説明 14:20-17:00 会場見学	展示会場内 ジャパンパビリオン
17:00-17:30	休憩・移動	
17:30-19:30	OB・OG等との交流会	Eat IT! (会場内レストラン)

※4月24日(金)は終日学生DAYへの参加

3. 船舶海洋技術セミナー

日 時：令和8年4月24日（金）10:15～13:30
場 所：会議棟 1F(レセプションホール A)
主 催：国土交通省、日本海事協会、日本船用工業会
内 容：講演および JSMEA サイバーコンテスト (※) の実施
プログラム：

10：15～10：20 (5分)	開会挨拶 国土交通省 大臣官房技術審議官 海事局担当 今井 新氏
10：20～10：40 (20分)	サイバーセキュリティに関する政府の活動と海運、造船、船用産業の関わり 国土交通省 総合政策局情報政策課 サイバセキュリティ対策室長 廣瀬 哲朗氏
10：40～11：00 (20分)	<u>JSMEA サイバーコンテスト 2026 について (日本船用工業会より)</u>
11：00～11：30 (30分)	GPS スプーフィングのリスク管理について 日本海事協会 認証・海技部 主管 沖本 慎吉氏
11：30～12：00 (30分)	海事産業のサイバー人材育成と共同プロジェクト報告 国立高等専門学校機構 広島商船高等専門学校 商船学科 准教授 岸 拓真氏
12：00～12：30 (30分)	<u>JSMEA サイバーコンテスト 2026 表彰式</u>
12：30～13：30 (60分)	参加者及びスポンサー企業とのランチ会

※情報セキュリティのスキルを用いて、課題の中から隠された答えとなる FLAG を発見し、得点を競い合う競技 (CTF : Capture The Flag)。今回は Jeopardy 形式 (個人戦) で実施予定

4. 学生 DAY

日 時：令和8年4月24日(金) 10：00～17：00
場 所：展示会場内各ブース等
主 催：SEA JAPAN2026 企画委員会

以 上